

令和5年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

新春！親子で書道体験～日本の正月文化も楽しもう！～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

日本の伝統文化の一つである「書」活動について、青少年の文化体験活動の裾野をより広げるとともに、「書」自体を楽しむ活動を通して、「書」に親しみをもつ。また、書道以外にもお正月の昔遊びを通して日本の伝統文化に触れる機会を設ける。

2. 事業の概要

（1）期日

令和6年1月6日（土）～1月7日（日）1泊2日

（2）参加者

① 募集対象・人数

小学生とその家族・10家族30人程度

② 参加人数

8家族20人

（3）講師等

1日目 岡山県立矢掛高等学校書道部

（4）企画・運営のポイント

- ① 岡山県立矢掛高等学校書道部に講師として来ていただき、書道パフォーマンスを鑑賞して、書初め指導を受けることで、書道への関心を深めてもらうようにした。
- ② 書初めでは、各自で持参した習字道具で自由に文字を書くことに加え、書道部が使用している大きな筆と半紙を使う体験を選択できるようにすることで、体験の幅を広げた。
- ③ 正月遊びの活動では福笑い、かるた・百人一首、すごろく、こま回し、けん玉の5つのブースを作り、活動時間中に時間を区切ることなくすることで、自分の興味のあるブースに参加できるようにした。
- ④ 2日目が1月7日の七草がゆの日であることから、食育の機会として有効であると考え、野外炊事で七草がゆを作ることにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

| 1月6日(土) | | 1月7日(日) | |
|---------|--------------------|---------|-------------------------|
| 13:30 | J R岡山駅西口バス送迎(希望者) | 6:45 | 起床・清掃 |
| 14:30 | 受付 | 7:30 | 宿泊室点検 |
| 15:00 | 開会式 | 7:45 | 朝のつどい |
| 15:30 | 書道パフォーマンス 書初め体験 | 8:00 | 朝食 |
| 17:30 | 休憩・寝具説明 | 9:00 | 野外炊事(七草がゆ・豚汁) |
| 18:00 | 夕食 | 13:00 | 閉会式 |
| 19:00 | お正月遊び | 13:30 | 解散 J R岡山駅西口バス送迎(希望者) |
| 20:00 | 入浴 | | |
| 21:00 | 就寝準備 | | |
| 22:00 | 就寝 | | |

(2) 活動の状況



【書道パフォーマンス①】



【書道パフォーマンス②】



【書初め体験①】



【書初め体験②】



【正月遊び①】



【正月遊び②】



【お正月遊び③】



【野外炊事】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 正月文化を楽しめる盛りだくさんのプログラムで、本当に充実した二日間となりました。
- ② 書道パフォーマンスを目の前で見せて頂き、感動しました。その後の書道でも、字の書き方をお姉さんたちが丁寧に教えて下さり、楽しみながらできました。
- ③ 大きな半紙で書かせて頂くことができ、普段、習字を習っていてもなかなかできない体験をさせてもらえて来た甲斐がありました。
- ④ なかなか家族で正月遊びをしないので、良い機会になった。
- ⑤ 野外炊事で他のファミリーと一緒に協力し、おいしい七草がゆと豚汁を作ることができました。
- ⑥ 人見知りのわが子でしたが、参加する中で一人で行動できることが増え、二日の中でも成長が見られました。

(3) 成果

- ① 岡山県立矢掛高等学校書道部による書道パフォーマンスは、今年度も好評であった。顧問の先生のご厚意により、大きな筆と半紙を貸していただいた。普段できない体験ということもあり、大人が積極的に筆を執り夢中になっていた。そこから子供にも波及し、多くの参加者が体験していた。書道部の生徒による個別の指導も好評で、参加者の書の技能的な向上に加え、良好な人間関係が築かれていった。

- ② 正月遊びの際には導入を工夫し、「やってみたい」という思いを喚起する話や言葉かけをして、楽しい雰囲気ですターすることができた。その結果、複数の家族や法人ボランティアとの交流が生まれ、大人数で遊ぶ姿が見られた。
- ③ 野外炊事において計画当初は七草がゆだけであったが、事前研修をしていく中で子供たちにとって食べやすい物の方が良いという意見が出た。豚汁を作ることになると残量はほとんどなく、参加者からも「七草がゆだけでなく豚汁があったので良かった。」という声があった。

(4) 今後の課題

正月遊びの種類を増やしても良いと感じた。参加者の様子を見て、今回用意した遊びは決して珍しくはないが、普段はなかなか遊ぶ機会がないと感じた。今回の遊びに加え、羽子板、お手玉、めんこなど体を動かす遊びがあると、より一層楽しい体験をできたと思う。

担当：企画指導専門職 八木 雄治